

ボットや偽ユーザーが ブラックフライデー セールに与える影響

大型セールが開催される
ホリデーシーズンに
不正トラフィックが EC 業界へ
もたらす影響とは？



CHEQ

「ボットフライデー」がやってくる!?

世界中で14000社以上のお客様に利用されている Go-to-Market セキュリティの第一人者である CHEQ は、独自のサイバーセキュリティ技術により、Web サイトに訪問したユーザーが、ボットや偽ユーザーであるかどうかを数千項目のセキュリティチェックで判定しています。CHEQ の専門家チームは、不正トラフィックの規模や影響について、知見を深め、より良いソリューションを実現するため、膨大な量のデータを日々調査・研究しています。

大型セールが多いホリデーシーズンを迎えるにあたり、CHEQ では、過去のブラックフライデーセールにおいて、ボットや偽ユーザーが EC 業界に与えた影響を分析し、その情報と現在の不正トラフィック率を用いて、今年のブラックフライデーにおいて見込まれる経済的・業務的な影響や損失を試算しました。

本調査では、2022年1月から同年6月の6ヶ月間に渡り、弊社が確認した EC サイトにアクセスした 2億3300万件のダイレクト、オーガニック、ペイドトラフィックを分析しました。ブラックフライデー直前および当日に EC サイトで計測されたトラフィックの量、ユーザーの購買パターン、広告予算に関するデータを組み合わせることで、各ユーザーが実際の人間のユーザーかどうかを判断しています。

515億円※

不正トラフィックによる

EC 広告の被害額

ボットや偽ユーザーは、競合企業の予算を使い果たしたり、重要な指標に誤差をもたらしたり、犯罪行為を行ったりするために、ネット広告を大量クリックする場合があります。このような行為は、リスティング広告や、SNS 広告、ディスプレイ広告やテキスト広告など、幅広い媒体で行われる可能性があります。

このような不正クリックは、EC 業界へも影響を与えています。EC サイトの広告における不正トラフィック率をホリデーシーズン中の広告クリックの量や頻度と掛け合わせて分析したところ、不正クリックがブラックフライデー期間に EC サイトに与える被害額は、約515億円に達するものと想定されます。

※ 1米ドル=140円にて換算

4600万件

オーガニック検索経由で

ECサイトへ侵入する

偽ユーザー

EC サイトにおける商品・サービス購入のほとんどはオーガニック検索から始まるという調査結果があります。このため、ボットや偽ユーザーはペイドチャネルとオーガニック検索の両方から、EC サイトに侵入することを認識することが、非常に重要になってきます。

ブラックフライデーでは、オーガニック検索経由のサイトへの訪問や商品・サービスの購入が通常と比べて大幅に増加する傾向があるため、サイトへオーガニック検索経由で侵入するボットによるトラフィックも増加します。

ブラックフライデーのオーガニックトラフィックの増加率と CHEQ 独自のデータを組み合わせることにより、今年のブラックフライデーでは、少なくとも4600万人の「買い物客」が実際には偽のユーザーであると想定されます

4620億円

ボットのカゴ落ちによる
被害額

EC 業界では周知のように、カゴ落ち率（カート離脱率）は上昇し続けています。ブラックフライデーにおいても、多くの買い物客が、同じ商品を他で見つかけたり、購入を取りやめたり、予算を使い果たしてしまったりという理由により、商品購入前にサイトから離脱してしまうかもしれません。

しかし、ボットや偽のユーザーによる意図的なカゴ落ちの拡大は、滞留在庫の原因となり、指標に誤差を生み出し、サーバーに負荷をかけ、さらには実際のユーザーが商品を購入することを困難にしています。ホリデーシーズン中の標準的なカゴ落ち率、EC サイトの不正トラフィック率、およびブラックフライデー中のサイトトラフィックと商品購入の増加に関するデータを組み合わせた結果、ボットによるカゴ落ちは4620億円もの被害の原因となるものと予測できます。